

緑の宝



2016
夏号
No.64



キリの花の上で囀るオオルリ

・・・・・・・・目次・・・・・・・・

・公益社団法人静岡県造園緑化協会平成28年度定時総会	2
・創立50周年	4
・大径木伐採講習会	5
・三保松原老齢大木危険度調査	6
・「羽衣の松」樹勢回復	7
・ビオトープフォーラム in 静岡	8
・特別支援学校緑の保全事業	9
・みどりのおたより（県環境ふれあい課から）	10
・花と緑の講演会、静岡県建設産業団体連合会総会、静岡県さくらの会総会	12
・平成27年度静岡県都市緑化技術研修会、街路樹剪定士実技試験	13
・技士会だより（あしかがフラワーパーク、西部支部技術研修会）	14
・南アルプスの花たち	15

公益社団法人

静岡県造園緑化協会

平成二十八年年度定時総会

平成二十八年五月十三日(金)午後三時から
静岡市葵区のグランディエールブuketーカイ
において、平成二十八年年度の定時総会を開催
しました。



高林会長挨拶

協会が発足して50周年になり、より社会貢献が求められていることを話しました。



櫻井 淳 副会長開会の言葉

議決権のある会員の総数九十三名のうち、委任状による者三十六名を含め、八十六名の参加により開催されました。
櫻井淳副会長が開会の宣言をし、高林久雄会長が挨拶をしました。
協会表彰規定により五名に対し会長表彰するとともに、知事褒賞を受けた会員及び従業員を顕彰、記念品を贈呈しました。
祝辞は静岡県くらし・環境部理事の志村弘一氏から頂き、来賓の各氏を紹介しました。



来賓の皆様

県くらし・環境部理事
県企業局理事
県環境ふれあい課長
県経済産業部森林整備課長

志村 弘一 様
西谷 誠 様
高尾 篤史 様
菅沼 久和 様



くらし・環境部志村理事来賓祝辞



会長表彰の皆様

浜松市の
株式会社
有限会社
やまもと園芸
株式会社
小林造園
株式会社
小林土木緑化
有限会社
東海ガーデン

江間種苗園
山本
耕平
佐野
隆史
石下
義三
田中
洋介
様
様
様
様
様



受賞者を代表して表彰状を受ける山本氏



懇談会で乾杯の音頭をとる小林氏



歓談する出席者

第一号議案

平成二十七年事業報告書及び財務諸表等承認の件

「平成二十八年度定時総会」資料に基づき、平成二十七年における事業報告書、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等について、説明があり、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決されました。

第二号議案

平成二十八年度入会金及び年会費の額並びに納入時期及び納入方法決定の件

入会金を五十万円から二十五万円に減ずることの説明があり、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決されました。

第三号議案

役員選任の件

新理事として杉澤教人氏、寺田祐一郎氏、山本修氏が、監事として小野田秀頼氏が承認されました。

お陰様で当協会は 創立五十周年を迎えることができました。

公益社団法人静岡県造園緑化協会は、昭和41年4月に任意団体・静岡県造園業協会として発足してから平成28年4月で50年を迎えました。その間、昭和57年には社団法人、そして平成24年には公益社団法人としてより社会貢献を求められる団体になりました。

これまで「緑豊かな住みよい県土づくり」に貢献することを目的に都市緑化の拡充や自然環境の保全を図ってまいりました。

私たちは、公益社団法人静岡県造園緑化協会の会員であるという誇りをもって、これからも歩んでいく所存です。今後とも当協会に対し一層の御理解と御指導、御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



年 月 日	主 な 活 動
1966.4.25	静岡県造園業協会として8社で発足
1975.12.1 ~ 12.3	造園施工管理試験対策講習会開催 (347名受講)
1978.8.5 ~ 7	海外視察 韓国済州島 17名
1980.7.29 ~ 8.3	海外視察 シンガポール、マレーシア
1982.1.29	社団法人静岡県造園緑化協会設立 (91社)
1982.7.1	緑化相談所の開設始まる
1983.7.2 ~ 8	中国庭園視察 上海・杭州・桂林 19名
1985.3.25	パンフレット(生垣づくり、樹木ガイド(街の樹200選)作成配布
1986.10.28	創立20周年記念式典 日興会館(静岡市)
1992.3.31	「緑の宝」創刊号発行
1992.6.20 ~ 27	海外視察研修会 花博フロリアード(オランダ)を訪ねて 31名
1993.6.12 ~ 19	海外視察研修会 ガーデンエキスポ93を訪ねて 24名
1996.10.23	創立30周年記念式典 日興会館(静岡市)
1998.9.16	シニア・ワーク・プログラム事業技能講習会始める
1999.6.20 ~ 26	中国'99昆明世界園芸博覧会視察研修会
2001.4.21 ~ 5.27	2001年しずおか緑・花・祭へ出展参加
2002.5.9 ~ 15	フロリアード2002花と緑の祭典(参加者15名)
2002.4.25 ~ 5.19	韓国安眠島国際花の博覧会屋内出展業務
2003.10.25 ~ 11.10	NEW!! わかふじ団体及びわかふじ大会会場飾花業務
2003.5.21 ~ 6.20	カナダ国際モザイクカルチャー出展製作物業務にスタッフ派遣
2004.4.8 ~ 10.11	浜名湖花博屋外庭園出展(水車小屋のある庭)と緑化相談所の開設
2006.4.27	創立40周年記念事業、記念式典・「新街の樹200選」作成等
2009.3.17	浜松市と災害時の応急対策活動協定を締結
2011.5.17 ~ 5.23	東日本大震災復興支援活動 岩手県大槌町でがれきの撤去、運搬
2012.4.27	公益社団法人静岡県造園緑化協会へ移行
2013.5.25	東日本大震災復興支援活動(大槌町ハナモモ植栽指導)
2014.4.5 ~ 6.15	「浜名湖花博2014」で浜名湖ガーデンパーク内出展
2015.3.30	静岡県交通基盤部長と災害時応援協定を締結
2015.7.8 ~	特別支援学校緑の支援事業
2016.6.3	創立50周年記念事業 ビオトープフォーラム in 静岡共催

大径木伐採講習会

平成二十八年一月十四日、広葉樹大径木の講習会を静岡市の遊木の森で開催しました。

当協会の会員十一名と「遊木の森」の管理をしている中部農林事務所の職員三名が参加しました。

講師は静岡県農林技術者協会会長の片平成行氏です。最初にチェンソー作業の防護衣の説明がありました。昨年からは林業・木材生産業でチェンソー作業をする場合は防護衣着用が義務になりました。防護衣は安全を確保するだけでなく、チェンソーを体の近くで操作できるため、腰を痛めないそうです。

次に参加者が持参したチェンソーを点検してもらったところ、目立てが適当でないものが多かったため、午前中は目立てを行いました。

午後は片平氏がコナラを追いツル伐りや「V字カット」などの方法で伐採の実演をしました。伐った材は参加者で枝払い、玉切りをして片づけました。上からの切れ目と下からの切れ目を二センチくらいずらしてフライングレバーで切り離すと安全です。

広葉樹はスギやヒノキに比べて硬いものが多いこと、枝葉が広がっているため重心がわかりにくいこと、樹種によっては裂けやすいなど注意が必要です。



片平講師から防護衣の利点等について説明を受ける。



コナラの伐採の実演



目立ての実演

三保松原 老齢大木危険度調査

ボーリング調査

ボーリング調査を平成二十八年一月十九日に実施しました。

一か所目は「羽衣の松」近くの売店の前です。地下水が10mを超えても出なかったため、15m掘りました。12・8mで地下水が出ました。地下水は雨由来の水ではなく、少し遠いところから来ているようです。



ボーリング機械は自走式のコンパクトなものです。

二か所目は「神の道」の龍の松の伐採跡の近くです。こちらは10mまで掘って、5mを超えたところで地下水が出ました。大震災で倒れた東北

の松林のように地下水水位は高くはなく、地下水が松の生育に影響はしていないようです。

また、売店からの生活排水の影響もないことがわかりました。



地表から10mまでは砂ばかりです。

空洞腐朽調査

平成二十八年二月九日・十日に三保松原の「羽衣の松」と「神の道」でアーボソニック3Dを使用した空洞腐朽調査を実施しました。センサー

を幹に打ち込み、ハンマーでたたき、その打撃音が伝わる速度により幹の中の腐朽状態や空洞の有無が分かります。念のため、一部の計測箇所はレジストグラフも併用しました。



センサーを幹に打ち込み、ハンマーでたたき、パソコンへ無線でデータが送られます。



薄い部分が腐朽している。

平成二十八年二月十八日、三保松原で国交省国土技術政策総合研究所緑化生態研究室の飯塚康雄主任研究官により、ガンマ線樹木腐朽診断を実施しました。ガンマ線による診断では測定時に樹木を傷つけることはないこと、腐朽材と健全材の明確な境界値が示すことができることが利点です。調査には県森林整備課、静岡市歴史文化課、治山林道課の職員らが立会いました。併せて、ばん太による腐朽診断も実施しました。

羽衣の松樹勢回復

葉の色が悪く、葉の量も少ないなど樹勢の衰えが目立つ三保松原の「羽衣の松」の樹勢回復業務を当協会が静岡市から受託し実施しました。

これまで、大学の研究者や樹木医などの診断から土壌の固結、シンクイムシやハダニなどの虫の被害、地下水や表流水の影響、観光客の踏圧などが指摘されています。

枯枝剪定

平成二十八年三月十六日、三保松原の「羽衣の松」の枯枝剪定を実施しました。

発注は静岡市観光交流課で当協会が受託し、樹木医の飯田正徳さんの指導により、源平造園建設㈱がツリークライミングチームの協力で行いました。

土壌改良工事

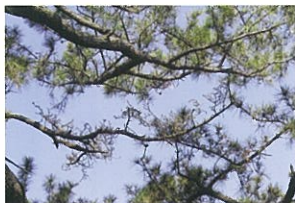
平成二十八年三月二十二日、静岡市清水区三保の「羽衣の松」で土壌改良工事を実施しました。

工事は水圧穿孔による固結層の破壊です。静岡市、静岡県担当者の立会いのもと、樹木医の飯田正徳さんの指導により、試験的に穴を掘削し、水圧やノズルの角度などを決定しました。当日はテレビクルーも多数来て、取材していました。

薬剤散布

平成二十八年三月三十日、静岡市清水区三保の「羽衣の松」で薬剤散布を行いました。ハダニ及びシンクイムシの防除が目的です。観光客が多いので、早朝六時から作業を行いました。

五月になってから、現場を確認したところ昨年はほとんどなかった新しい芽が伸びていました。



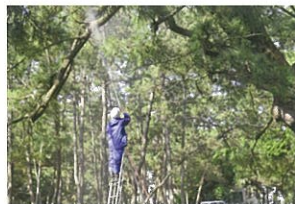
葉の量が少なく樹勢が衰えている。



ツリークライミングチームが鋸で剪定します。



試験し、水圧やノズルの角度を決定する。



高い枝は脚立の上から散布します。

ビオトープフォーラム in 静岡二〇二六

平成二十八年六月三日、ビオトープフォーラム in 静岡二〇一六が静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催され、会員らが八十人参加しました。当協会は創立五十周年記念事業として開催しました。

○基調講演

『人と生物のための生態系インフラ』
横浜国立大学名誉教授・前学長、自然環境復元学会会長、日本ビオトープ協会代表顧問 鈴木邦雄先生

○特別講演

『ドイツ・スイスのビオトープづくり』
元龍谷大学教授、日本ビオトープ協会顧問 竺文彦先生

○講演

『静岡県の生物多様性保全の取組』
静岡県くらし・環境部自然保護課課長代理 馬塚雅敏氏



「人と生物のための生態系インフラ」
（左）NPO法人日本ビオトープ協会 （右）公益財団法人静岡県環境政策推進機構、静岡県環境政策推進機構

ビオトープ大賞など各地でビオトープ整備を行っている団体が受賞されました。



櫻井会長が「協会は多様化する生態系インフラストラクチャー事業の社会的要請に寄与することに努めること」を述べました。



会場には全国から80人の参加者



講評する鈴木邦雄先生



県自然保護課の馬塚課長代理が静岡県の生物多様性保全の取組について講演しました。



竺龍谷大学名誉教授がヨーロッパと日本との自然観の違いについて、講演しました。

特別支援学校 緑の保全事業

平成二十七年 度

平成二十八年一月二十日、県立浜松特別支援学校で二十七年 度第三回の緑化指導を実施しました。

指導者は南永井造園の永井さん、御大瀬造園の堀之内さん、南昭花園の寺田さんです。生徒は高等部の二、三年生の六人です。作業はカイヅカイブキの剪定、ツツジの徒長枝の剪定、サンゴジュ、マテバシイのひこばえの切り取りです。



平成二十八年 度

平成二十八年 度は東部では富士特別支援学校、中部では吉田特別支援学校、西部では袋井特別支援学校で事業を実施します。

平成二十八年七月五日、吉田特別支援学校で今年度最初の事業を実施しました。

作業は花壇作りです。講師は、吉田町の南岩本造園の岩本柱典さん、南松浦造園の松浦伊佐雄さん、御特種東海フォレストの紅林さんです。生徒さんは中学部の九人で先生が四人、ほかに中学部の主任、副校長、教頭さんも顔を出してくれました。植えたのはボーチュラカ四十、ニチニチソウ八十、ブルーサルビア四十、ルドベキア四十で全部で二百株です。生徒さんたちは、前に玄関横の花壇よりも経験しているためか、手際よく、予定の一時間で作業は終わりました。



環境ふれあい課

新規採用職員の紹介

(静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課)



本年度、静岡県新規採用職員として環境ふれあい課に配属になりました。林業職技師の福田拓実と申します。社会人となってから早くも三ヶ月が経過し、徐々に仕事にも慣れてきたように感じます。一方でまだまだ分からない事も多く、上司の手助けによってなんとか仕事を行っています。

私は登山や旅を趣味としており、昨年度は愛媛県の石鎚山への登山や、屋久島の縄文杉を見に行きました。林業職員として働こうと考えたのも、この趣味が根底にあると考えています。

また、私は大学在学中に樹木医補の資格も取得しております。環境ふれあい課に配属になったのも何かの縁だと感じていますので、これを機に樹木医の資格を取得したいと考えております。



私は現在、主に花の会連合会の事務局としての仕事を担当しております。五月二十七日の花の会連合会総会では、さまざまな方のお力添えもあり、大過なく総会を運営することができました。

来年度は、公益財団法人静岡県グリーンバンクと、公益社団法人静岡県緑化推進協会が統合し、都市緑化と森づくりの双方を担う新生グリーンバンクが誕生します。環境ふれあい課の職員として、初年度にこのような大掛かりな事業に末席とはいえ関わることができるとは、非常にありがたいことであり、私自身の経験になればよいと考えております。

若輩者ですが、これからよろしく願いたします。



平成二十七年年度静岡県 都市緑化技術研修会

平成二十八年二月十二日、静岡

市の男女共同参画センター（あざれあ）で平成二十七年年度静岡県都市緑化技術研修会が静岡県公園緑地課と（社）日本造園建設業協会静岡県支部の共催により開催されました。緑化行政関係者、造園関係者など四十六名が参加しました。

特別公演

（一）社）日本造園建設業協会技術調査部長の野村徹郎氏が「海外で活かす日本の造園技術」

静岡県公園緑地課の渥美史陽氏が「小笠山運動公園の芝生管理について」

静岡市公園整備課の山田 慎氏が「日本平公園整備について」

会員実績報告は園愛樹園の中野

孝三氏が「造園建設業が行う東北地区除染作業の現状について」を行いました。

講演内容はバラエティに富んで勉強になりました。特に、野村氏のこれからの造園業については、海外も視野に入れるという考え方をはじめて伺って、参考になりました。中野氏の除染については、初めて除染作業について体系づけて説明していただき、まだまだ、震災の復興は遠い道のであることを再認識しました。



内山静岡県支部長挨拶



除染について説明する中野氏



特別講演を行う野村氏

街路樹剪定士実技試験

平成二十八年二月一日、愛知県の

愛地球博記念公園で街路樹剪定士実技試験が開催されました。受験者は七十七名（当日欠席二名）で静岡県からも六名が参加しました。午前中はトウカエデ、午後はプラタナスを剪定しました。プラタナスは樹高が十mを超えるものもあり、立ち枝も多く、皆さん苦労していました。



技士会だより

あしかがフラワーパーク

平成二十八年四月二十七日午前七時十分
に静岡駅を出発し、八時三十分には三島駅に
到着して、総勢十五名で栃木県足利市のフ
ラワーパークを目指して出発しました。東
名高速道路の厚木ICから開通した圏央道
を経由し、予定より四十分早くあしかがフ
ラワーパークに到着しました。

既に多くの来場者で入り口付近はごった
返しており、園内も人だらけでした。お目
当ての大藤、白藤、うす紅藤はほぼ満開の
状態で大変素晴らしいものでした。例年よ
り開花が早かったので満開時に来園できて
参加者の皆さんは喜んでいました。

その後、館林市のつつじが岡公園に向い、
こちらも満開のヤマツツジを堪能すること
ができました。推定樹齢八百年を誇るツツ
ジなど色とりどりのツツジを見学し満足し
て帰途につきました。



満開に近い長藤



白藤のトンネル



移植に成功した樹齢 130 年の大藤



つつじが岡公園のやまツツジ



平成二十八年四月二十三日にふー
まの店研修室(袋井市沖山梨91)で静
岡県農林技術研究所の池村嘉晃氏を
講師に迎え、
「刈り込み頻度と刈高の関係について」
「使用に耐える施肥量を把握する」な
どに参加者二十三名が勉強しました。

西部支部 技術研修会

（公財）静岡県グリーンバンクと（公社）静岡県緑化推進協会の統合について

公益財団法人静岡県グリーンバンクは、事業目的が同じである公益社団法人静岡県緑化推進協会との合併に向けて調整を続けてきた結果、このたび両法人の間で正式に合併契約を取り交わしました。（詳細は以下のとおり）

統合後も新法人は県土緑化の推進のための取組を続けていきますので、公益社団法人静岡県造園緑化協会様におかれましても、その高い緑化技術を活かし引き続き県土緑化への御支援をいただきますようお願いいたします。

○合併の目的

「都市緑化」と「森林整備」の区別無く、両法人の人的資源を活かし、併せて、地域住民や企業、団体、行政など広範な県民の協力を得て効果的な緑化推進を行うため対等に合併する。

○合併の期日

平成 29 年 4 月 1 日

○合併の形式

（公財）静岡県グリーンバンクを存続法人とする。

○合併契約の承認手続き

（公財）静岡県グリーンバンク

平成 28 年 6 月 8 日：理事会 6 月 28 日：評議員会

（公社）静岡県緑化推進協会

平成 28 年 6 月 2 日：理事会 6 月 22 日：総会

合併契約調印…平成 28 年 7 月 22 日



○両法人の概要

名 称	公益財団法人静岡県グリーンバンク	公益社団法人静岡県緑化推進協会
目 的	緑あふれる生活環境の創造（都市緑化）	緑あふれる県土づくり（森林整備）
設 立	昭和 52 年 1 月 29 日 （任意団体発足 昭和 50 年 9 月）	平成 2 年 3 月 27 日 （任意団体発足 昭和 25 年 4 月）
基本財産	840,000 千円 内訳 県 83,520 千円（9.9%） 市 町 5,925 千円（0.7%） 指定寄付 6,884 千円（0.8%） 繰入金 743,671 千円（88.6%）	74,592 千円 内訳 県 50,000 千円（67%） 市 町 24,592 千円（33%）
役 員	理 事 長 平野孝雄（㈱平野社団相談役） 副理事長 中山正邦（浜松倉庫㈱取締役会長）	理 事 長 中山正邦（浜松倉庫㈱取締役会長） 副理事長 小野登志子（伊豆の国市長）
関係団体	支店 35 支店（各市町）	正会員 51 団体 （県、35 市町、15 林業・緑化関係団体）

花と緑の講演会

平成二十八年二月二十五日、公益財団法人静岡県グリーンバンク主催の講演会が静岡市のしずきんホールユーフォニアで開かれました。

講師は御豊田ガーデンの天野麻里絵さんで「花のある暮らしの楽しみ」という演題で話されました。花だけでなく、色々なリーフやグラスを使って、季節感のある立体的な花壇づくりの話で勉強になりました。



天野麻里絵さん



挨拶する平野理事長

(一社) 静岡県建設産業 団体連合会 会長表彰式・定時総会

平成二十八年五月三十日、静岡市産業交流センターにおいて、平成二十八年度(一社)静岡県建設産業団体連合会の会長表彰式・定時総会が開催されました。

高林会長が総会及び理事會に出席しました。

沼津市の御緑香苑の山本宜司様、浜松市の御大瀬造園の堀之内一友様(欠席)が表彰されました。



御緑香苑の山本宜司様

静岡県さくらの会 第五十一回通常総会

平成二十八年六月十四日、県庁西館四階第一会議室において、平成二十八年度静岡県さくらの会第五十一回通常総会が開催されました。

総会に先立ち平成二十八年度さくら功労者として、菊川市の鈴木勝章氏、焼津市の焼津市山の手未来の会が、平成二十八年度さくら写真コンクール最優秀賞は掛川市の後藤正徳氏、特選「静岡県内の桜」部門で松崎町の渡辺玲子氏がそれぞれ表彰されました。



挨拶する副会長の高木氏

南アルプスの花たち



茶臼小屋の沢には5月下旬までたっぷり雪がついていることが多いです。

南アルプスには多くの高山植物があり、夏山シーズンには黄色やピンク、紫の花たちが賑やかに咲きます。今回は、まだ、雪の残っている五月下旬から六月の月上旬にひっそりと咲く、花たちを紹介しましょう。派手さはないけど可憐な花たちです。



クモイコザクラ
静岡県のレッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類です。



ショウジョウバカマ
低山にもあり、真夏にも咲いていますが、雪解けを待って咲きます。



ミネズオウ
稜線の砂礫地に咲く小低木です



バイカオウレン
林の中で静かに咲いています。



コミヤマカタバミ
亜高山帯の林に咲いています。



ヒメイチゲ
ハクサンイチゲのような派手さはない。

公益社団法人静岡県造園緑化協会

会員名	所在地	電話番号	会員名	所在地	電話番号
栲樹園	東伊豆町	0557-23-0648	原田造園	焼津市	054-624-2610
木村造園	東伊豆町	0557-23-1635	良知樹園	焼津市	054-624-1355
栲伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	南富士造園	焼津市	054-624-4007
栲広野園	伊東市	0557-37-3028	南杉村造園	焼津市	054-624-4030
栲藤源	伊東市	0557-45-0040	栲樹見園	焼津市	054-624-8941
藤原造園	熱海市	0557-81-4240	栲中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
西村造園	熱海市	0557-82-7424	栲大石造園	藤枝市	054-643-7282
南伊豆植物園	伊豆の国市	0558-76-1564	栲太陽造園	藤枝市	054-641-4076
大島造園土木栲静岡営業所	裾野市	055-997-2775	栲特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
栲富士見園	長泉町	055-986-6567	栲岩本造園	吉田町	0548-32-2507
南正翠園	長泉町	055-986-3199	栲松浦造園	吉田町	0548-32-8887
栲大綱造園	御殿場市	0550-83-9767	栲雄樹園	御前崎市	0537-86-2684
栲植正園	沼津市	055-921-0945	田旗造園建設	掛川市	0537-22-5951
栲緑香苑	沼津市	055-931-0408	栲植庭底苑	掛川市	0537-24-5577
栲大志建設	沼津市	055-923-1128	栲三宝園	掛川市	0537-24-4128
栲翠石園	富士市	0545-71-2236	栲小澤造園	掛川市	0537-22-9052
栲大松園	富士市	0545-52-5220	栲松月園	森町	0538-48-6431
南常華園	富士市	0545-35-0163	栲山本造園	袋井市	0538-48-6592
栲望月庭園	富士市	0545-21-5195	栲片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
栲やまもと園芸	富士市	0545-38-1958	栲ハヤ代造園	袋井市	0538-43-4355
天野園芸	富士市	0545-81-0655	トヨタ緑産	袋井市	0538-44-0400
栲共立	富士市	0545-85-1213	栲庭 仁	磐田市	0538-35-5528
栲小林造園	富士宮市	0544-24-4533	栲植 勘	磐田市	0538-34-3030
赤池造園	富士宮市	0544-24-3568	栲浮月園	磐田市	0538-38-0529
栲佐野緑化	富士宮市	0544-27-2825	栲永井造園	磐田市	0538-38-0500
栲岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	栲植垣造園	磐田市	0538-38-1901
栲丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	栲松島園	磐田市	0538-38-0790
源平造園建設	静岡市清水区	054-366-5525	栲大東園	磐田市	0538-34-4163
栲小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	栲東豊グリーンメンテナンス	磐田市	0538-32-0018
駿河緑地造成	静岡市清水区	054-351-2555	栲昭花園	磐田市	0538-55-3392
栲森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	栲東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
木下造園	静岡市清水区	054-334-0757	栲江間植苗園	浜松市中区	053-471-1727
不二見造園土木栲	静岡市清水区	054-369-2515	栲庭 明	浜松市中区	053-453-3311
春長園緑化	静岡市葵区	054-246-7512	栲庭 勘	浜松市中区	053-455-3980
栲ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	みどり園	浜松市中区	053-456-1165
栲森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	栲太陽造園土木	浜松市中区	053-455-4007
静岡親菜	静岡市葵区	054-261-2094	栲エンテ	浜松市中区	053-435-8585
栲飯田直園	静岡市葵区	054-245-0513	栲大湖造園	浜松市東区	053-434-1907
栲藤造園	静岡市葵区	054-245-9870	天龍造園建設	浜松市東区	053-421-1180
栲静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	赤坂産業	浜松市東区	053-434-4332
栲理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	大協造園緑化	浜松市西区	053-592-4500
栲西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	ナイス緑地	浜松市西区	053-485-4631
ソーアイ造園	静岡市駿河区	054-282-7971	市川造園	浜松市南区	053-449-4646
栲小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	大村造園建設	浜松市北区	053-437-1128
栲落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	五常園	浜松市北区	053-587-4838
栲静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593	栲寿重植木	湖西市	053-579-0736
加藤造園	焼津市	054-628-3235			

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、
公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-0031 静岡市葵区呉服町2丁目2番地

TEL 054-253-0586 FAX 054-251-9205 URL <http://www.midorinotakara.org/>

平成28年8月発行

編集 啓発労働委員会
監行 桑松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに森の町内会」の紙を便ることにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊かな森づくりをサポートしています。